

平成24年9月5日

杉並区議会議長
井口 かづ子 様

清掃・エネルギー対策特別委員会
委員長 脇坂 たつや

清掃・エネルギー対策特別委員会活動経過報告書

清掃・エネルギー対策特別委員会の活動経過について、下記のとおり報告します。

記

1 活動年月日

- (1) 平成24年5月30日 正副委員長の互選
- (2) 平成24年6月22日 報告聴取

2 活動経過

- (1) 5月30日

正副委員長の互選を行い、その結果、委員長には脇坂たつや委員、副委員長には山本あけみ委員がそれぞれ選出された。

- (2) 6月22日

以下のとおり2件の報告を聴取した後、質疑応答を行った。

① 太陽光発電機器設置助成について

平成15年度から実施している太陽光発電機器助成について、件数は着実に増加しており、今年度は予算を昨年度の1.5倍にし、助成対象も拡大して地域への再生可能エネルギーの普及促進に努めているとのこと。本年度も、昨年度を上回るペースで申請があるとのこと。

導入経費等については、平成21年度から東京都も助成を開始したため、自己負担額は減少しており、現在は、導入経費の3分の1程度が助成され、残りの3分の2が自己負担となっている。

なお、平成23年度の平均では、約200万円の経費がかかり、そのうち約130万円が自己負担となっているとのこと。

また、制度開始当初は3キロワットのパネルの利用が多かったが、平

成23年度の平均では3.91キロワットとなっており、発電容量も増加しているとのこと。

今後とも、地域でのエネルギーの地産地消を図り、自給率を上げていくという観点から、再生可能エネルギーの導入促進に努めるとのこと。

② 平成23年度ごみ収集量及び資源回収量について

ア ごみ収集量について

可燃ごみの収集量は、約9万7,300トンであり、平成22年度と比べて1.3%の減量とのこと。

不燃ごみについては、約4,800トンであり、平成22年度と比べて2.2%の減量とのこと。

粗大ごみについては、約4,300トンであり、平成22年度と比べて2.7%の増加であるが、これは、東日本大震災の影響があったものと考えているとのこと。

これらの合計は、約10万6,400トンであり、平成22年度と比べて約1.2%の減量とのこと。

イ し尿収集量について

し尿については、平成23年度末の対象戸数は36戸、収集量は50トンであり、平成22年度と比べて22トンの減量であるが、これは、対象戸数が減少したことによるものと考えているとのこと。

ウ 資源回収量について

資源回収量については、約3万9,000トンであり、平成22年度と比べて0.2%の増加であるが、これは、分別の徹底や資源の循環という区民の意識が数値にあらわれたものと考えているとのこと。

なお、資源回収量のうち、行政回収については、171トン減少し、集団回収が246トン増加したとのこと。

また、集団回収の全品目で数値が増加しているが、これは、集団回収の実施団体数が増えたことによるものと考えているとのこと。

引き続き、区民の協力を得て、一層のごみの減量と資源化の推進に努めるとのこと。